

平成 29 年度  
下水道に関する人身事故発生状況について  
(平成 30 年 2 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年2月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	4 (4)	4 (4)
	2. 負傷事故	3 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (4)	4 (0)	1 (1)	3 (5)	7 (5)	5 (1)	4 (3)	0 (2)	38 (25)	38 (25)
	合計	3 (0)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	3 (4)	4 (1)	2 (2)	4 (5)	8 (5)	5 (1)	4 (4)	0 (2)	42 (29)	42 (29)
	累計	3 (0)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	15 (9)	19 (10)	21 (12)	25 (17)	33 (22)	38 (23)	42 (27)	42 (29)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	10 (3)	10 (3)
	2. 負傷事故	4 (5)	5 (4)	5 (6)	5 (8)	7 (5)	13 (8)	6 (8)	16 (7)	13 (13)	13 (15)	15 (15)	0 (9)	102 (103)	102 (103)
	合計	4 (5)	5 (4)	6 (6)	7 (8)	7 (5)	15 (8)	7 (8)	17 (7)	13 (14)	14 (15)	17 (17)	0 (9)	112 (106)	112 (106)
	累計	4 (5)	9 (9)	15 (15)	22 (23)	29 (28)	44 (36)	51 (44)	68 (51)	81 (65)	95 (80)	112 (97)	112 (106)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (3)	0 (0)	14 (7)	14 (7)
	2. 負傷事故	7 (5)	7 (5)	7 (7)	9 (10)	10 (9)	17 (8)	7 (9)	19 (12)	20 (18)	18 (16)	19 (18)	0 (11)	140 (128)	140 (128)
	合計	7 (5)	7 (5)	8 (7)	12 (11)	10 (9)	19 (9)	9 (10)	21 (12)	21 (19)	19 (16)	21 (21)	0 (11)	154 (135)	154 (135)
	累計	7 (5)	14 (10)	22 (17)	34 (28)	44 (37)	63 (46)	72 (56)	93 (68)	114 (87)	133 (103)	154 (124)	154 (135)	-	-

※下段()書きは前年度(平成28年度)の値  
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年2月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	1	2	2	1	1	3	3	1	0	0	15	9
	2. 政令市	2	1	1	1	1	1	1	0	1	0	2	0	11	5
	3. 一般市	0	1	0	2	0	2	0	1	3	4	2	0	15	13
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	4	0	42	29
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	7
	3. 処理場	1	2	1	4	2	2	2	3	5	5	3	0	30	16
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	5. その他	1	0	1	1	0	1	0	1	2	0	1	0	8	1
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	4	0	42	29
事故類型	死亡事故	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	負傷事故	3	2	2	4	3	4	1	3	7	5	4	0	38	25
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	5	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	7	11
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	1	0	0	0	0	0	0	1	4	2	1	0	9	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	7	2
合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	4	0	42	29	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	2	0	37	26
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	4	0	44	31
累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	44	44	-	-	

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	0	1	1	2	4	0	1	5	4	1	5	2	26
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
	合計(人)	0	1	1	3	4	1	2	5	6	1	5	2	31
累計	0	1	2	5	9	10	12	17	23	24	29	31	-	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

# 人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成29年度

平成30年2月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
<b>2月</b>								
1	H30.2.13	3. 一般市	その他	①負傷事故	5. 転倒	下水道宅内樹の詰まり除去作業中に高圧洗浄車のホースに躓き転倒、左膝を強打し骨折した。	ホースの降ろした場所及びたわみのある躓きやすい場所に保安設備を置くなど安全管理の徹底を図る。	委託先業者
2	H30.2.14	3. 一般市	処理場	①負傷事故	3. 飛来・落下	混合汚泥貯留槽の攪拌機の設置作業に使用したチェンブロックを片付ける際に、ガイドレールからチェンブロックがはずれ、下で操作をしていた職員の右肩付近に落下した。	チェンブロック落下原因箇所の点検及びガイドレールのストッパーの設置を行い再発防止を図る。	委託先業者
3	H30.2.15	2. 政令市	処理場	①負傷事故	1. 墜落・転落	薬液注入のため、ずらしていた水路の覆蓋に罹災者が乗ったことにより、覆蓋と共に深さ約3.7m・水深20cmの水路に墜落した(頸椎ねんざ等)。	検討中	自治体職員
4	H30.2.24	2. 政令市	処理場	①負傷事故	1. 墜落・転落	最初沈澱池の水槽の蓋を取付ける作業を作業員2名で行っていたところ、1名が体勢を崩し、約3.2m下に落下し右足踵を骨折した。	高所作業における事前の安全計画の策定、安全帯の着用等	自治体職員

### 3.事故発生状況(工事) (平成30年2月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	0	1	0	1	1	3	1	1	0	0	1	0	9	6
	2. 政令市	1	2	0	3	2	1	2	3	0	2	4	0	20	19
	3. 一般市	3	2	4	3	4	11	7	12	10	10	11	0	77	69
	4. 町村	0	1	1	2	0	0	0	2	2	1	4	0	13	10
	5. その他	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	5	2
	合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	21	0	124	106
工事分類	1. 管きょ開削	2	4	3	3	3	9	7	14	8	6	14	0	73	67
	2. 管きょ推進	0	1	1	3	3	0	1	1	2	3	3	0	18	12
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	3
	4. 管きょその他	0	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	0	8	4
	5. 処ポ土木建築	2	0	1	2	0	3	0	0	1	1	1	0	11	9
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	3	0	8	10
	7. 処ポその他	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4	1
	合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	21	0	124	106
事故類型	1. 墜落・転落	1	1	2	4	0	3	1	4	2	4	4	0	26	22
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	2	2	1	3	3	6	3	2	5	0	29	23
	3. 飛来・落下	1	1	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	9	6
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4	1
	5. 転倒	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	4	5
	6. 激突	0	1	1	0	0	0	0	1	2	1	1	0	7	8
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	2	2	2	1	2	0	3	0	12	6
	8. 交通事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	5
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	2	3	0	1	3	2	2	0	13	14
	12-2. 公衆災害(物損)	0	1	0	2	0	0	3	2	0	1	4	0	13	10
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14. その他	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4	4	
合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	21	0	124	106	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	2	0	10	3
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	13	0	71	69
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	7	0	37	24
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	22	0	118	96
累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	118	118	-	-	
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	
	2. 重傷	4	1	5	5	3	7	7	5	7	10	10	5	69	
	3. 軽傷	1	3	1	3	2	1	1	2	5	1	2	2	24	
	合計(人)	5	4	6	8	5	8	8	7	13	11	14	7	96	
累計	5	9	15	23	28	36	44	51	64	75	89	96	-		
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成29年度

平成30年2月末現在

NO.	発生日月	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
2月										
1	H30.2.1	2.政令市	6.処ボ機械電気	運び出し前纏め及び玉掛け作業	現場内	解体足場資材を槽外へ荷揚げ中、途中の既設モンキータラップに資材が引っ掛かったため、引っ掛かりを外そうとタラップを上った作業員が、下降時に足を滑らせ約1.5m程度落下した。	1.墜落・転落	69	男	右足首骨折
2	H30.2.2	3.一般市	2.管きよ推進	推進工	現場内	推進工においてプラントで泥水の混練り作業を行ってたところ、材料を投入するためユニット車上に設置してあるプラントミキサーに作業員が移動しようとし脚立に昇ろうとした際、回転部に手を巻きこまれて左指3本を負傷。	2.はさまれ・巻き込まれ	50	男	左手先(人差し、薬指)骨折、左手先中指裂傷
3	H30.2.3	3.一般市	1.管きよ開削	交通誘導	現場内	夜間片側交互通行の規制により開削工事を施工中、交通誘導員が一般通過車両にはねられた。事故車両運転手は70~80kmくらいで走行しており、規制に気が付くのが遅れ慌ててハンドルを切った際に作業員に接触したとのこと。	8.交通事故	34	男	鎖骨、肋骨骨折
4	H30.2.4	4.町村	1.管きよ開削	ポンプ撤去作業	現場内	既設ポンプの撤去作業中、移動式クレーンでポンプを吊上げようとした際、バランスを崩して現場作業責任者の方にポンプ(質量415kg)が倒れてきて左足を負傷。	6.激突	45	男	左かかと骨折、左大腿切傷
5	H30.2.5	3.一般市	6.処ボ機械電気	ホツパの撤去工	現場内	ホツパ撤去によりできた開口部の養生をおこなうため作業をしていたところ、単管を固定するための番線を作業員2名が受け渡しをする際、1名の作業員が未固定の単管を既に固定されていると勘違いして単管に掴まり、その単管が外れたため落下した。作業員は安全帯をは装着していたが、使用していなかった。	1.墜落・転落	43	男	右上顎洞骨折、他
6	H30.2.6	3.一般市	1.管きよ開削	-	現場内	汚水管渠開削工事の掘削作業中、元請け業者がガス供給管(φ30mm)に重機を接触させ、切断してしまった。	12-2.公衆災害(物損)	-	-	-
7	H30.2.6	3.一般市	1.管きよ開削	管渠開削工	現場内	下水道工事における開削工の管布設作業中、布設管(VUφ600)を吊作業中、作業員の左足がバックホウ(0.25m3)のキャタピラに挟まれ被災。事故原因は、バックホウの前で、吊り上げた布設管の補助を行っていた作業員がアームの死角に入り、オペが気付かず前進したため。	2.はさまれ・巻き込まれ	56	男	左中足骨頭部骨折、他(全治6ヶ月)
8	H30.2.7	4.町村	2.管きよ推進	-	現場内	推進工法のための地盤改良を行った部分が15~20cm隆起しており、通過した通勤バスがバウンドし、乗車していた会社員4名が負傷した。	12-1.公衆災害(人身)	21 33 37 45	男	①胸椎圧迫骨折 ②胸椎圧迫骨折 ③腰痛(打撲) ④腰・首痛により1日通院
9	H30.2.7	4.町村	1.管きよ開削	管渠接続工	現場内	深さ2m巾1.5mの開削完了後、下水道管渠接続のため開削部へ進入し接続作業を行っていた際、開削部の土砂が崩落し作業員が負傷した。	7.土砂崩壊	35	男	背骨の圧迫骨折
10	H30.2.7	2.政令市	1.管きよ開削	-	現場内	人力掘削作業中にバックホウバケットを掘削箇所におろし発生土積込みを行っていたが、バックホウの操作を誤りバケットで地山を押し込んだため、直下に埋設されていたガス供給管を損傷させた。	12-2.公衆災害(物損)	-	-	-
11	H30.2.8	5.その他	1.管きよ開削	資材置場整地	現場内	資材置場において、整地のため0.2m3バックホウにて砕石敷均し作業を行っていたが、バックホウが後退していたところ、後方にいた作業員に気付かず、右側キャタピラにて作業員の左足と接触。その後病院に運ばれたが、翌日、様態が急変し死亡。	2.はさまれ・巻き込まれ	72	男	死亡
12	H30.2.12	1.都道府県	2.管きよ推進	-	現場外	中央分離帯にある工事基地内から水が溢れ出て、通行車両により拡散された水(薄層部)が凍結したことにより、通行車両がスリップ事故等を起こした。原因は、工事基地内のクッチタンク内に設置しているポンプが漏電により停止し、タンクよりオーバーフローした水が路面へ流出したことによるもの。	12-1.公衆災害(人身)	不明	男2名 女1名	打撲等
13	H30.2.13	3.一般市	1.管きよ開削	掘削工	現場内	開削工事中にガス管50mmを切断した。	12-2.公衆災害(物損)	-	-	-
14	H30.2.14	3.一般市	1.管きよ開削	掘削工	現場内	下水道管路を埋設するために道路を掘削していたところ、近接していた農水管VUφ150上部の地山が崩壊し、作業員1名が負傷した。	7.土砂崩壊	22	男	左手首骨折
15	H30.2.14	3.一般市	6.処ボ機械電気	機械器具設置	現場内	自動除塵機の設置作業を行うため、約3mの貯留槽の底に梯子を使って降下していたところ、折り畳みの梯子であったため、降下途中(約1.5m降下したところ)で梯子が中折れを起こし、約1.5mの高さから被災者が落下した。	1.墜落・転落	64	男	腰の骨折
16	H30.2.16	3.一般市	1.管きよ開削	資材置場での作業	現場内	資材置場でダンブに積載していた仮設材をバックホウで吊り降ろす際、吊荷がバランスを崩してバックホウの運転席を直撃し、吊荷が運転席のレバーを進行または後退の方向に倒したため、バックホウが動きだし、進路上にいた作業員が轢かれ死亡。	2.はさまれ・巻き込まれ	51	男	死亡
17	H30.2.20	3.一般市	1.管きよ開削	掘削工	現場内	掘削作業中、H=1.4mほど掘下げた時点で、被害者が丁張り杭を張り手に1人で降りたところ、片側の土砂が崩落して作業員の胸を路盤の塊が直撃し、体の一部が埋まった。	7.土砂崩壊	43	男	肝臓の損傷
18	H30.2.22	4.町村	1.管きよ開削	地山掘削、土留工	現場内	バックホウの吊降ろし作業中、被災労働者が吊金具(クランプ)を矢板に取り付けようと簡易土留に左手を置き、金具を誘導している時にバックホウのバケットと左手が接触し負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	57	男	左手人指・中指先端欠損(全治2ヶ月)
19	H30.2.22	2.政令市	5.処ボ土木建築	樋取替え作業	現場内	既設樋の撤去作業中に樋が落下し、作業員が落下した樋を押さえようとした際に右手に持っていたランナーで左手首を裂傷した。	4.切れ・こすれ	39	男	手首の裂傷(全治3ヶ月)
20	H30.2.23	3.一般市	1.管きよ開削	土木・管布設工	現場内	掘削作業時、幅70cm、高さ100cm程度の堀山から登ったところ、堀山から約1m先にある幅170cm、高さ90cmの水路に前のめりに転落。	1.墜落・転落	73	男	頭部裂傷 脳しんとう
21	H30.2.28	2.政令市	1.管きよ開削	掘削工	現場内	取付管施工時の土砂掘削の際に近接するガス供給管(φ25)を破壊した。	12-2.公衆災害(物損)	-	-	-

平成 29 年度  
下水道に関する水質事故等発生状況について  
(平成 30 年 2 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 水質事故等発生状況

(平成30年2月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	4 (4)	0 (1)	53 (48)
	累計	1 (3)	4 (10)	10 (14)	16 (18)	17 (21)	28 (25)	33 (30)	39 (32)	46 (37)	49 (43)	53 (47)	53 (48)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	15 (6)
	2. 政令市	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	12 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (6)	3 (2)	3 (1)	0 (3)	3 (2)	3 (2)	5 (2)	4 (3)	1 (3)	2 (3)	0 (0)	25 (30)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (5)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	4 (4)	0 (1)	53 (48)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	2 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	20 (21)
	2. マンホール	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	10 (4)
	3. 処理場	0 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (3)	1 (0)	5 (1)	1 (3)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	16 (12)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (4)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (7)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	4 (4)	0 (1)	53 (48)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (2)	6 (2)	3 (4)	4 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	0 (0)	29 (21)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	1 (2)	1 (1)	0 (1)	8 (15)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	16 (12)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	4 (4)	0 (1)	53 (48)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (11)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	2 (3)	4 (1)	3 (2)	2 (3)	1 (2)	0 (1)	21 (18)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
	合計	1 (3)	2 (6)	4 (4)	3 (2)	1 (2)	6 (4)	4 (5)	6 (2)	6 (5)	3 (4)	2 (3)	0 (1)	38 (41)
水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	4 (4)	0 (1)	53 (48)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (4)
	② 耐用年数以内	1 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	17 (8)
	③ 天災等	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (5)
	合計	1 (1)	1 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (1)	4 (1)	0 (3)	1 (3)	0 (0)	19 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )内書きは、前年度(平成28年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 水質事故等情報データベース

平成29年度

平成30年2月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
<b>2月</b>								
1	H30.2.9	3. 一般市	ポンプ場	その他案件	-		原動機の燃料系統を修繕後、試運転を行った際に排気煙道内に充満した未燃焼ガスに引火し、爆発が発生した。	エアールンによる煙道内パージの徹底
2	H30.2.13	3. 一般市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出		建築物解体現場にて油分を含んだ排水が公共下水道雨水幹線を経由して河川に流出した。	事業者への指導
3	H30.2.22	2. 政令市	処理場	その他案件	-		自家発電設備の排煙筒から爆発音と黒煙が発生。	-

## 水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成29年度

平成30年2月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
<b>2月</b>								
1	H30.2.14	1. 都道府県	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	27/50	耐用年数以内 橋に添架している圧送管が損傷し、汚水が漏水した。	検討中